

排尿行動学習指導案

ねらい
 排尿行動体制変換を図るにききだつて、本児の腰をつかんで本児自身が自己の下腹部を叩くのなすけつやり、活動の展開の途中で必要に応じてはたらしきかけることを手がかりにして便所へ行ってオシッコをすることができるようになる。

過程 (学習内容、活動および留意事項)

(↑の記号は、その画側の事象が相繼いで起こることが認められることをあらわす)
 (↓の記号は、環境の構成上必然のつながりであることを示す記号とする。(以下同じ))

オシッコを下げるなど → 下腹部を叩く
 のしぐさを認めたら → のしぐさを認めたら

触接刺激を受けたら → 移動を
 下腹部に受けたら → 移動を

便所の前 → 戸をあける
 にくたら → 便器に

便器に → たちどまる
 接近して → たちどまる

●オシッコを下げて、アンダー、シャツのすそが下腹部より下にさがつていると、パンツを下げる活動のしぐさをかけてしまつたりするので、さがらないようにまくりあげ

●自分の手指で口唇のあたりを軽く叩くことをはじめると、上半身をうごかしている腰の方によじるのでオシッコなどにおシッコをかけることがある。そのため、シャツなどのすそをつかんでおさえているようにしむけてやる。

オシッコに → ひきまです
 手をかけて → ひきまです

下腹部を → オシッコをする
 つきだして → オシッコをする

●また、こうした場合、トイレにはいつでも水道の方へ向うことが多いので、そうなる前にかたわらで指さしや腕をつかむなどして便器へ向うようにさせる。

●ひきまですでないでやめてしまふこともありますが、パンツやオシッコをぬらしてしまふ場合が多いので、ゴムの部分あたりの脚をつつくなどして下げるようにする。

便器の前を離れて → 洗面所に接近する

カラシに手をかけて → ひねる

両腕をのばして → 蛇口の下で
 水を受けて

水を合わせて → こする

カラシに右腕 → 水をどめる
 のをばして → こする

上半身をおこして → 手ぶきの方へ
 身体を向けて

腰をタオルへのばして → 手をふく

タオルから → 出口へ
 手をはなして → 移動する

●こするのをたすけようとすると、これに強く抵抗することがある。腰をつかんだ手の力をゆるめると、蛇口へ口を近づける場合だが、水のまないで口唇に水をあてているだけのときは、すぐに「オシッコ」の身振りサインを発信して、手をこする活動へ変換するようになさせる。

●はたらしきかけをしないといっていると、水いじりをはじめるので、水をとめたらすぐに肩を軽く叩いて上半身をおこすようにさせる。

●腰をタオルにのばしたら、手首をつかんでこするのをたすけてやり、手の甲はふいてやるようにする。

●タオルから手をはなしたら、身体を出口の方へ向けるのを肩をつかんで助けてやるようにする。